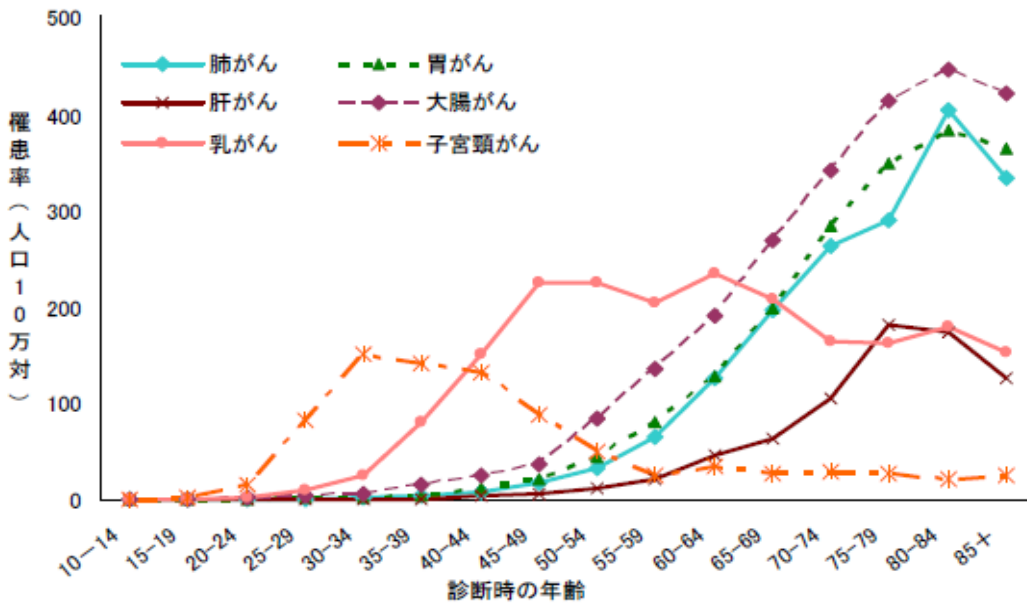


# 20歳になったら子宮がん検診

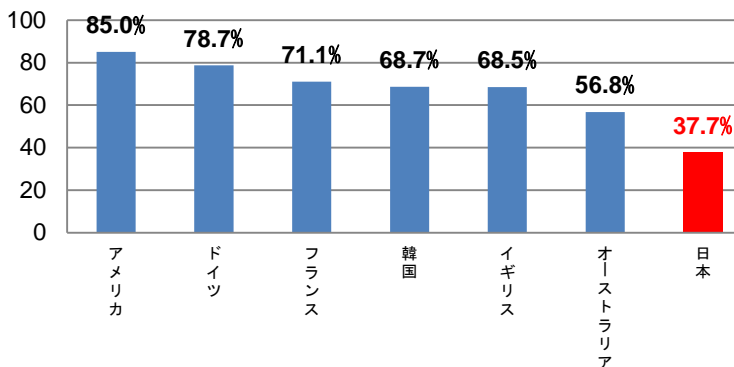


出典：平成 24 年静岡県地域がん登録集計結果

20歳代から子宮がん罹患する方が急増！！初期は自覚症状がないので検診を受けることが有効です。早期発見により 90%以上完治が可能です。



## 子宮頸がん検診受診率

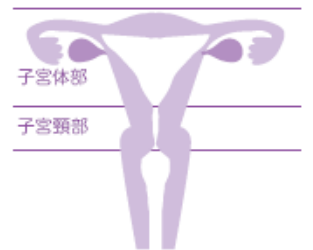


先進諸国では 60~80%の女性が受診していますが、日本の受診率はわずか **37.7%** です。

子宮がん検診では、がんになる前の「前がん病変」やごく初期のがんを高精度に発見できます。この段階であれば小さな範囲の簡単な手術で済み、妊娠や分娩も可能になります。

Q：子宮頸がんってどんな病気

A：子宮の入り口にできるがんです。がん発症の多くにヒトパピローマウィルス(HPV)の感染が関連しているとされています。主な感染経路は性交渉で、ほとんどの女性が一度は感染するウィルスです。自然に治ることがほとんどですが一部の人に持続感染し、前がん病変に、その一部ががんに進行します。



Q：検診では、何をしますの？

A：医師の診察と細胞診(子宮の入り口をこすって細胞を取り異常がないか調べます)です。検診時間は約 15 分程度です。



Q：子宮がん検診、受け方は？

A：市の子宮がん検診は 2 年に 1 度の隔年検診となっています。健康推進課にお申し込みいただければ受診券を発行いたします。2 年に 1 度定期的に検診を受けましょう。

問い合わせ

藤枝市健康推進課成人保健係

☎ : 645-1111 Fax : 645-2122

✉ : hokencenter@city.fujieda.shizuoka.jp